

New York Report

January, 2019

CONTENTS

* Project 1: Glenstone Museum

1. Glenstone Museum

Project Overview

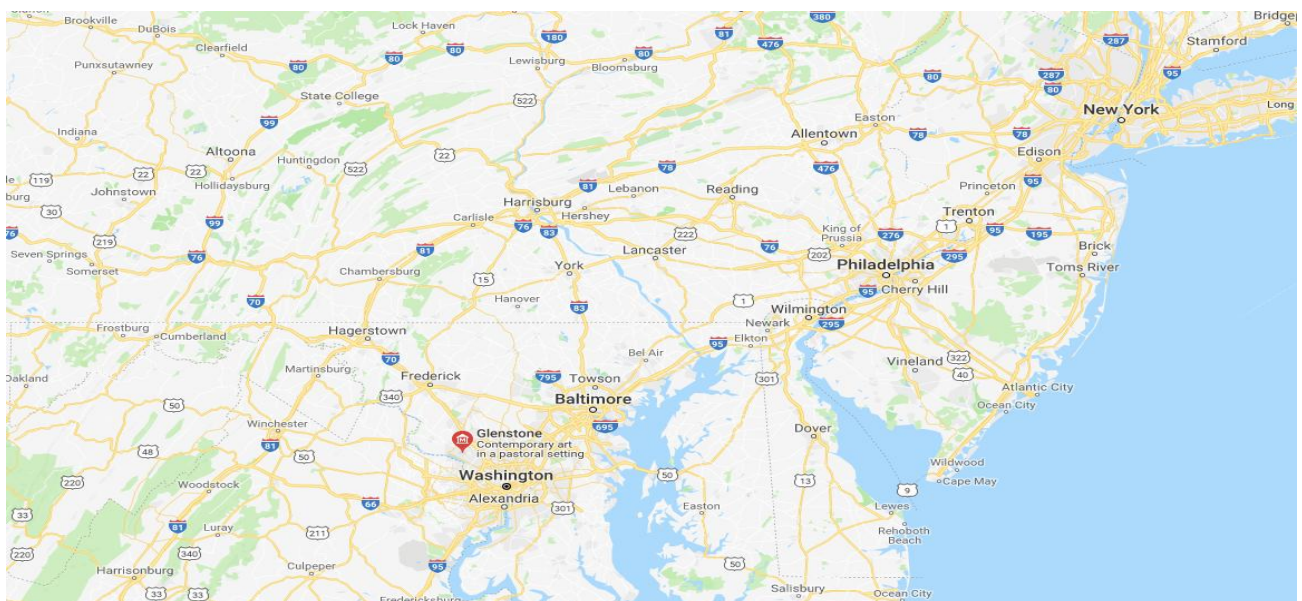
巨万の富を築き、世界中からアートを蒐集するビック・コレクター。アメリカ国内にある美術館の中には、そんなビック・コレクターたちが私財を投じ、自らのコレクションを一般公開すべく設立しているものも少なくない。オーナーのアートへの造詣や思いが存分に注がれた、こうした私設美術館はアメリカ各所に点在しているが、この秋、美術誌のみならず一般のメディアでも報じられたのが、Gleanstone Museum のリニューアルオープニングである。実業家の Mitchell Rales と、その妻で美術史家である Emily Rales によって 10 月 4 日にオープンした同美術館は、マーク・ロスコやウィレム・デ・クーニングなどの夫妻のモダン&コンテンポラリーのプライベートコレクションを中心に展示する美術館として、元々あった Glenstone ギャラリーにパビリオン館を増設し開館した。美術館を囲む庭園もフルリノベーションを行った。230 エーカーの広大な土地を利用した同館は、現在のところ、私設美術館としては、アメリカ最大の 4600 平米の展示スペースを有することとなった。

新設されたパビリオン館は、Water Court と呼ばれる池の周りを囲むようにつくられており、大きな窓を設けて外の自然と建物内部が同調するようなデザインを採用している。建物も自然との調和を考慮し、建材にはピグメントや塗装を使用しないソリッドコンクリートを使っているほか、展示ルームも自然光を最大限に利用すべく、天窓などが計算し配置されている。

Project Details

1. Glenstone Museum
2. Museum
3. Open Date: 2018 年 10 月 14 日
4. Location: Potomac, Maryland
5. Architect: Thomas Phifer and Partners
6. Landscape Design: PWP landscape Architecture
7. Website: <https://www.glenstone.org/>

Location Map





Water Court を囲むように建てられた新設パビリオン館



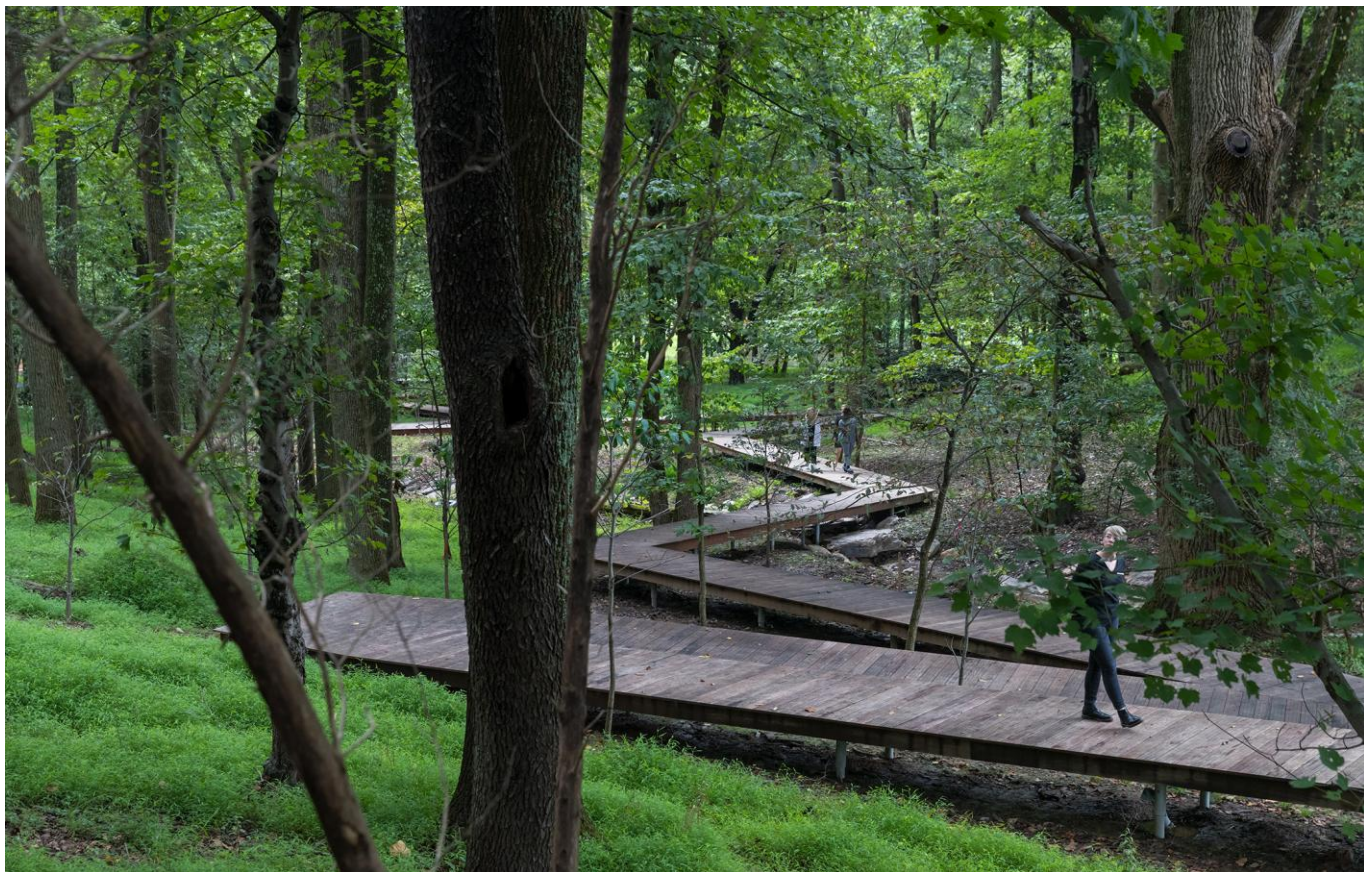
作品を際立たせるシンプルな内観



自然光がふんだんに入る館内



ランドスケープに同調するように設計された外観



散策できるボードウォーク



作品の存在感を生かした展示



天窓からの採光を重視した展示ルーム